

平成 29 年度足立区公共交通推進会議 会議録

1．開催概要

< 日時 > 平成 29 年 6 月 23 日（金） 14:00～16:00

< 場所 > 足立区本庁舎 中央館 8 階 特別会議室

2．出席者

（１）出席者（出欠状況 出席者 26 名 欠席者 2 名）

内山 久雄	和田 明	久保 雄一郎	伊東 潤一	大山 日出夫
岡崎 純也	松尾 早苗	佐久間 洋行	原田 靖彦	増田 治行
小松 弘尚	柳下 浩	樽澤 正人	星野 良一	
木津 和久	深津 光市	富田 幸男	大内 浩之	
石井 貴史	会沢 努	鈴木 哲志	川口 真澄	
上嶋 淳史	西窪 裕光	西村 健一	三橋 雄彦	

（２）事務局

都市建設部交通対策課交通計画係

交通対策課長 須藤 純二

交通対策課交通計画係長 古賀 太輔

交通対策課交通計画係主査 小松 友和

交通対策課交通計画係 村上 和宏

交通対策課交通計画係 坂上 琢

交通対策課交通計画係 神保 英生

3．議事次第

（１）足立区総合交通計画の進捗について

- ・ 足立区総合交通計画短期施策再検証について 資料 1
- ・ 新たな交通手段の導入検討について 資料 2
- ・ バスロケーションシステムの導入について 資料 3
- ・ 自転車走行環境整備に係る取組みについて 資料 4

（２）足立区総合交通計画改定協議会立上げについて

- ・ 協議会構成（案） 資料 5
- ・ 委員（案） 資料 6
- ・ 連絡事項 資料 7

（３）コミュニティバスはるかぜ関連について

- ・ 安全運行のお願い 資料 8

4. 議事要旨

(1)～(3)の議題について、それぞれ資料に基づき、事務局より説明

主な意見・質疑等

鉄道事業者

資料5について、公共交通推進会議とは別に改定協議会が設立されるのか。現計画の協議会は、いつ設立されたか。

事務局

改定協議会は公共交通推進会議とは別に、条例に基づく区長の附属機関として新しく設置される。前回の設立は、平成21年度である。

鉄道事業者

足立区都市交通マスタープラン検討委員会に駅の区長がメンバーに入っているが、駅周辺の課題等、日常のことを議論するのか。

事務局

今回の計画改定では、公共交通のサービス向上をメインに検討していきたい。メンバーについては、より実現性の高い施策を計画に位置づけていきたいと考えており、そういった視点からご意見いただける方を推薦していただければと考えている。

前回協議会で、駅の区長が参画している理由として、現在、区ではバリアフリー基本構想を別途作成しているが、前回協議会では各駅舎まわりのバリアフリーについての検討もなされたのでメンバーとして入っていた経緯がある。人選については総合的な観点からご意見いただけるような方を推薦していただきたい。

バス事業者

資料7について、会議の公開で、傍聴は入るのか。議事録の公表はどのように行うのか？

事務局

これから要綱を定めるが、会議は公開となるため傍聴は入る。議事録については出席者氏名の公表の方法も含め、適切な形で情報公開できるよう検討していく。

会長

傍聴等によって、委員等の個人情報が増えることは適切でない。個人的には、協議会における全責任は会長が負うといった覚悟で協議会に参画している。

会長

資料2の花畑地区へのバス導入可能性について、昨年度実施したアンケートの雰囲気（感覚）はどのようなであったか。例えば、「バス・タクシーを利用できないから家に閉じこもっている」「外出に大変な苦労がある」等のモビリティバリア的な話はなかったか。

事務局

具体的なところまでは把握できていないが、「外出に困っている」というのは感覚としてある。驚いたのは、町会への特別な依頼がなかったにもかかわらず、回収率が高かったことである。交通支援への期待・要望がかなり強いことが、アンケートの回収率に反映されたものと認識してい

る。

会長

これまでの総合交通計画の議論では区民（特に日本人）を対象としているが、現状として、訪日外国人や様々な国籍の方も増えている状況である。また足立区外から通勤している方の交通利用といった視点もある。そのような方々を対象としたアンケート調査は実施したことがあれば教えてほしい。

事務局

外国人や区外から通勤しているような方々をターゲットとしたアンケート調査は実施したことがないと記憶している。しかし他の所管での実施例はあるかもしれない。

副会長

おそらく実施していないと思われる。広く意見をいただくため、改定協議会に区議会議員も入れることとした。また墨田区では交通計画と観光計画に関し一体的な検討を行っている事例もある。2020 オリンピック・パラリンピックを見据えると、会長のご発言にあった調査も視野に入れて検討した方が良いと考える。

会長

バスロケーション等は進めていくべきである。その際、案内の多言語化にも十分配慮すべきである。いずれにしても区内外の人にとって、より良い施策が必要であると考えます。

副会長

今年度から始まる総合交通計画見直しについては、上位計画等の改定および、高齢化の進展、外国人の増加等、現計画策定時から状況が変化したため、改定するに至った経緯がある。本日お集まりの方々には、引き続き改定協議会へのご協力をお願いしたい。

以上